

## 神戸R&Dセンターに技術開発棟を竣工 技術開発力強化と生物多様性保全を推進

2020年3月

神戸R&Dセンター（兵庫県神戸市）に技術開発棟を竣工しました。産学官連携など社内外の技術の融合によるオープンイノベーションを促進し、新たな環境因子技術や環境配慮製品などの開発を進めます。また、屋上（約700m<sup>2</sup>）では、六甲北部の在来種を植栽した草地を育成しています。これにより、生物多様性保全をさらに推進するとともに、環境保全事業の拡大につなげていきます。



技術開発棟（兵庫県神戸市）



エスバックミック施工の屋上緑地



屋上緑地では希少な在来種を育成



新技術・新製品を創出する実験室

## 刈谷試験所の受託試験サービスを グリーン電力100%で提供

2020年1月

受託試験を行う刈谷試験所（愛知県刈谷市）は、グリーン電力証書制度\*を活用し、使用する全ての電力をバイオマス発電によるグリーン電力に切り替えました。これにより、年間の使用電力約170万kWhは再生可能エネルギーを使用したとみなされ、年間約768tのCO<sub>2</sub>排出量が削減できる見込みです。刈谷試験所では受託試験をグリーン電力100%で提供し、お客さまの環境負荷低減に貢献していきます。

\* 自然エネルギーにより発電された電気環境付加価値を、証書発行事業者（日本自然エネルギー株式会社）が第三者認証機関（一般財団法人日本品質保証機構）の認証を得て「グリーン電力証書」という形で取引する仕組み



刈谷試験所（愛知県刈谷市）

## ゴーヤカーテン普及・啓発に貢献 京都府環境保全功労者表彰を受賞

2020年6月

京都府環境保全功労者表彰（団体・環境トップランナー部門）を受賞しました。京都府環境保全功労者表彰は、環境保全活動や環境保全行政の推進に顕著な功労があった個人および団体に対し、その功績をたたえ表彰するものです。受賞にあたっては、当社の福知山工場（京都府福知山市）が、長期にわたりゴーヤカーテンの普及啓発などの環境学習に率先して取り組み、環境保全型ライフスタイルの定着に貢献したことが評価されました。



表彰式（左から3番目：西脇 隆俊 京都府知事、4番目：取締役 浜野 寿之）

## 【新サービス】

2020年5月

### お客様のテレワークを支援する 「在宅オンラインサービス」を開始

自宅に居ながら環境試験ができる「在宅オンラインサービス」を開始しました。新型コロナウイルスの感染症の拡大でテレワークが増加するなか、テレワークでも出勤時と同様の試験品質でお客様の開発業務を支援します。当社装置の使用においては、ITを活用した集中管理システムと独自開発の槽内監視カメラを用いて、工場などにある環境試験器を自宅から遠隔監視・操作できます。また受託試験においても、ウェブ会議システムなどを活用し、全てリモートで対応します。



#### 独自開発の 槽内監視カメラ

装置に簡単に装着でき、  
高温多湿でも曇らず撮影可能

■ 使用可能温湿度範囲  
温度：-40℃～+150℃  
湿度：0%rh～98%rh

槽内の試料を撮影している様子

## 【新型コロナウイルス感染症対応】

2020年3月

### 社員が子どもと一緒に勤務できる 「オフィス内テレワーク制度」を実施

新型コロナウイルスの感染症の拡大によって全国の学校が臨時休校したことを受け、2020年3月10日～31日の15日間、本社などの会議室を開放し、社員が子どもと一緒に勤務できる「オフィス内テレワーク制度」を実施しました。また、本社では、会社に来た子どもたちへの体験学習として、当社の環境試験器を用いた科学実験や、会社近隣のお店で働く方へのインタビューなどを行いました。



社員が子どもと同じ部屋で仕事ができるオフィス内テレワーク

## 【新製品】

2020年2月

### 恒温(恒湿)室 ウォークインチャンバー 新シリーズを発売

多様化するお客様の試験ニーズに対応し、恒温(恒湿)室の新シリーズを発売しました。

#### 恒温(恒湿)室 ウォークインチャンバー 「ハイパワーシリーズ」

国際標準IEC規格やドイツ自動車業界規格「LV124」に定められた急速温度変化試験ができる装置です。



#### 恒温(恒湿)室 ウォークインチャンバー 「ドライブインシリーズ」

車2台が入る約500m<sup>3</sup>の大空間でも温度や湿度、日射などさまざまな気象環境を再現し、実車試験を行える装置です。シャーシダイナモと組み合わせれば、実際に車を走らせて燃費や走行性能を評価することもできます。

## 【新製品】

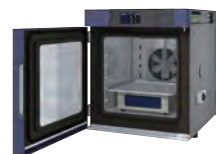
2020年3月

### バイオ医薬品の研究開発・品質管理に貢献 「輸送環境試験装置」を発売

医薬品を輸送する際の振動や温度などの環境を再現する「輸送環境試験装置」を2機種発売しました。

#### 輸送環境試験装置(振とう機投入恒温槽) TRE-100

-10℃～+65℃の温度範囲を制御しながら振とう(往復や旋回運動)試験を行う装置です。がん治療薬などのバイオ医薬品の研究開発で使用されます。



#### 輸送環境試験装置 TRE-200

-30℃～+70℃の温度範囲において3軸同時振動を再現する装置です。医薬品の実輸送環境でのリスクを適切に評価することができます。

